

実施目的

多摩地域は、豊かな自然や多くの観光資源が存在しているものの、1箇所では旅行者等を集客できる観光資源は少なく、都心からの移動時間を有効に使える観光ルートも少ない。そのため、旅行者等が多摩の魅力を感じ、リピーターとして再び多摩地域を訪れたいような観光資源の発掘と観光ルート開発を行い、国内旅行者等の誘致を促進する。

実施内容

ハイグレードツアー-ART&MUSIC
実施日：2022年10月27日（木） 天気：晴
参加人数14名 移動手段：貸切バス

「パレスホテル立川」(ウェルカムドリンクタイム)
10:00～

Art & Music①
ご出発前のひとときを、立川産ハチミツを使用したオリジナルドリンクと、旅へ誘う生演奏の音楽でおくつろぎください。

「パレスホテル立川」 ——— 「草門去来荘」(ご昼食) ———
10:35 発 11:30 頃着 13:10 発
※バス下車後、徒歩約3分

Art & Music②
竹林に囲まれた武蔵野を感じる古民家レストランで、多摩産食材を使用した料理と併せて、生演奏の音楽をお楽しみください。

「村内美術館」(下車入場)
14:20 頃着(見学) 15:10 発

Art & Music③
全国でも珍しい家具と絵画をテーマにした美術館。個性的なデザインズチェアや、ハルピゾン派・印象派などの絵画を学芸員の解説で鑑賞いただけます。

「玉堂美術館」(下車入場)
16:45 頃着(見学・ミニコンサート鑑賞) 18:10 発

Art & Music④
日本画の巨匠「川合玉堂」の名画の数々を係員の解説で鑑賞。閉館後、名匠として名高い石庭をツアーのためにライトアップ。小澤酒造の新酒をいただきながら、たった1日だけのミニコンサート(約30分)をお楽しみください。

立川駅
19:30 頃到着・解散

ハイグレードツアー- WELLBEING
実施日：2022年11月10日（木） 天気：晴
参加人数13名 移動手段：レストランバス

「パレスホテル立川」(レストランバス下車) ——— 「立飛臺酒造所」(下車・見学) ———
12:00 発 12:10 頃着 12:40 発

基本に忠実に、原料から製法にまでこだわったビールを醸造して地元の方に貢献。ここでしか味わえないビールを知ることでその魅力をお伝えします。

レストランバスで車窓の景色を眺めながら、「パレスホテル立川」毛塚総料理長が多摩産食材を使用し特別にアレンジした料理をお楽しみください。

★ レストランバス運行コース(記載箇所は全て車窓です)

「国営昭和記念公園」 ——— 「日野橋(多摩川)」 ———
紅葉が進む「国営昭和記念公園」。途中「自衛隊立川駐屯地」の滑走路を間近見ることができるのは高さあるバスならではの、条件が良ければ「日野橋」からは富士山の眺望を眺めることができます。

「高幡不動尊金剛寺」 ——— 「多摩モノレール」 ———
関東三大不動「高幡不動尊金剛寺」の仁王門と正重塔の迫力も感じる裏門。階段は園上高く走る「多摩モノレール」がバスと同じ高さで走行する区間では、珍しいレストランバスは注目を浴びます。

「多摩動物公園」 ——— 「多摩ニュータウン」 ———
多摩丘陵特有のアップダウンする道を走行しながら、色づく街路樹や山の木々の緑を眺め、天気が良ければルーフを開けて解放感ある眺めをお楽しみ頂きます。

「メタセコイア通り」 ——— 「グリーンスプリングス」(レストランバス下車) ———
15:00 頃

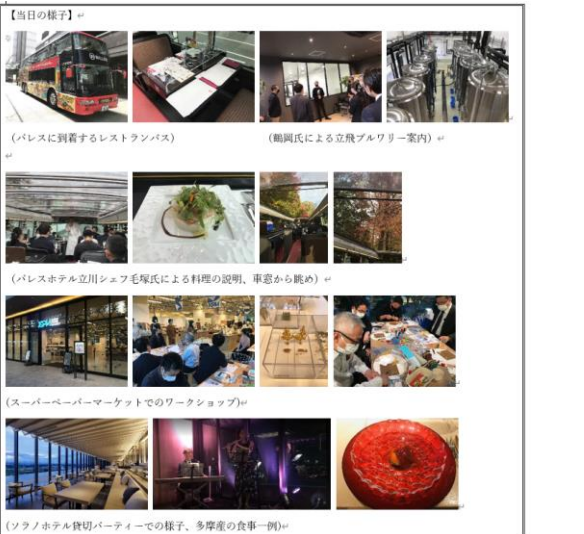
道路の両側に「メタセコイア」が並ぶ通りへ、覆い被さるような枝葉の中を走行するのはスリルを感じます。ハイライトとも言える体験の後、バスは立川方面へと戻ります。

…… 「SUPER PAPER MARKET」(体験) …… 「グリーンスプリングス」(自由行動)
15:10 16:30 16:30 17:00

立川にある「細谷紙工」のセレクトショップで「1/100 建築模型用鉛筆セット」を使ったワークショップを体験いただきます。季節を感じる模型をペンセットと接着剤で組立てをしていただき、専用のディスプレイ用アクリルケースに入れてお持ち帰りいただきます。

…… 「SORANO ROOFTOP BAR」(夕食) …… ※JR立川駅車で徒歩約10分
17:00 19:00 解散

ローカルの製法と適地適作にこだわる食材運びから始まり日本が誇る秋の味覚に、地中海沿岸諸国のエッセンスを取り入れたイタリアンコースをご用意いたしました。SORANO HOTEL 特有のインフィニティプール越しに広がる景色も併せてお楽しみください。



事業成果

(1) 多摩地域発着の富裕層向けの高付加価値ツアーに見合う素材があり、本事業で開発した玉堂美術館でのライトアップ演奏会、レストランバスは非日常を味わえる可能性が秘めていることが分かった。

課題

- (1) 受け入れ態勢の整備
定期観光に向けてホテル、観光施設の設備、受入体制整備及び支援が必要。
- (2) 季節の検討
ツアー催行時期は空気がよく、紅葉も楽しめる時期だが寒い時期の為、寒さ対策を検討する必要がある。
- (3) より尖った観光開発
拘束時間を短くし、ハイライトをより目立たせるツアー企画にすることで気軽に非日常を味わえるツアーへ磨き上げをする必要がある。
- (4) コスト高
旅行内容を時間、行程ともにマイナーチェンジし、富裕層だけでなく、付加価値に期待される方も購入いただける価格帯となるように企画する必要がある。

今後の展開

- (1) 立川発着の定期観光化マイクロツーリズムを目指す。
 - ①観光ルートの磨き上げ
 - ・観光事業と共により尖った観光ルート開発を行い短時間(2~3時間)でも楽しめる内容へ調整する。
 - ・地元旅行会社、コンシェルジュが販売できる商品化を目指す。
 - ②受入施設先への設備等協力打診
 - ・玉堂美術館ではライトアップコンサートを行った。ライトアップは初めての試みとのことだったが好評だったため、常設について話し合いを進める。
 - ③魅力あるレストランバスメニュー開発
 - ・多摩地域の文化、食を理解した料理人が作ることが多摩地域のPRにもつながるため、東京都商工会連合会を通し、料理人の発掘及び協力レストランを探す。